

原水爆禁止 2015年世界大会

参加に向けて



昨年の原水爆禁止世界大会

毎年、友の会の代表として原水爆禁止世界大会に参加者を送っています。今年は8月7日～9日に長崎で開催される大会に友の会から3人が参加します。

参加者からの抱負

和泉支部

谷川 和子

変え、福島原発の地震による事故処理の解決もできない現状。

私は被爆50年長崎大会に参加しました。当時、戦後50年という年月が大きな区切りでもあり、大変熱気のある大会でした。被爆者のすさまじい体験を聞き、また一瞬にして半分に切り取られた石の鳥居を見て、生きた人間がどのようになったのか想像するだけでも怖いことでした。

あれから20年もの年月が過ぎ、現実はどうでしょう。世界に誇れる平和憲法も無視し戦争をする国に変えようとし、武器三原則も

つてきます。

71歳の昨年、50年ぶりに世界大会広島と3・1ピキニデーに参加させてもらい、ヒロシマ・ナガサキもピキニ事件も過去の問題ではなく現在進行形の事件であることを強く強く学ばされました。フクシマ避難者を棄民のような扱いをする一方、原発再稼働や戦争立法を嘘と詭弁のおつむ返しで強行しようとする安倍内閣が同一線上にくつきりと国民に見えてきた事です。青年の頑張りは何と言っても大切ですが、我ら高齢者は特に命を懸けても頑張らないと。それは今でしよう！そんな気持ちです。

ふくいずみ支部

川村 直子

長崎の原爆祈念館を初めて訪れたのは、高校2年生の修学旅行でした。本で読んでいても実際に展示されている物や写真を見て、胸が痛くなったことを覚えています。その後、広島、長崎、沖縄へも足を運び、戦争をおこす人々の愚かさ、怒りを感じてきました。戦後70年の今年、長崎での原水禁世界大会に参加させていただく機会ができて感謝しています。世界情勢や核の事は、分からない事が多すぎます。しかし、核兵器だけは絶対にいりません。このことを、もっと強く感じてきたいです。45年前の怒りをまだ私は持っているのでしょうか。

鳳支部

小倉 孝雄

被爆70周年の歴史的な大会に参加できること、平和運動を志してきた一人として幸せに感じます。渾身の力で大会成功のためがんば

お楽しみクイズ

クロスワードパズル

- 応募方法/郵便ハガキにクイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・友の会に対するご意見等を記入のうえ、あて先/〒599-0824 堺市堺区老松町2丁58-1 友の会事務局「お楽しみクイズ」係あてにて郵送ください。
- しめきり/2015年9月9日(水)消印有効
- 当選発表/厳正なる抽選の上、10人のかたに賞品(図書カード5000円分)を、賞品の発送をもって発表に替えてさせていただきます。
- クロスワードパズル解答はがきに書かれた「ご意見」は、紙面に掲載させていただきます。ご了承ください。

タテのキー

- ①邦楽の一つ。歌詞の短い歌
- ②「がひどく人の名がなかなかならない」
- ③あまりの美貌に「が

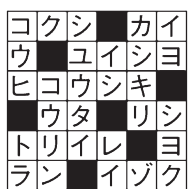
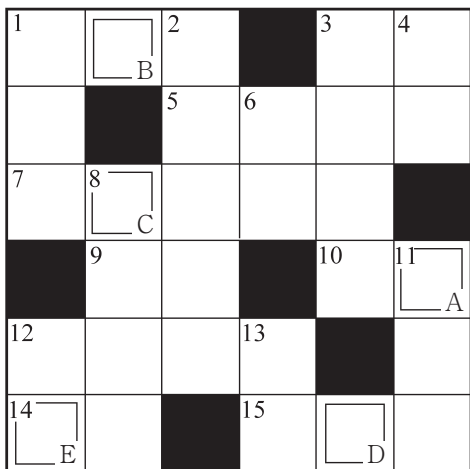
出た

- ④酒は冷やよ〇〇が好き
- ⑤〇〇の畑でポチが鳴く
- ⑥〇〇の派
- ⑦得意になって大声で笑う
- ⑧運が開けること
- ⑨心ばかりの贈り物
- ⑩肩〇〇がひどく
- ⑪役柄が〇〇に付く

ヨコのキー

- ①里芋の異称
- ②鳩派の対語は〇〇派
- ③能で用いる仮面
- ④接吻
- ⑤年齢が高い
- ⑥3割3分3〇〇
- ⑦「でゴシゴシ

カギを解き、二重ワクに入る文字をABC順に並べてできる言葉は何?



●6月号の答「レイゾウコ(冷蔵庫)」 ●応募数/98通



俳句

旬なのに

きゅうり一本 そつと買う

吉崎みどり(和泉市上町)

梅雨晴間

パレットの青 使ひきる

柿本 初野(中区八田北町)

短歌

父の日は タベに集う 身内等と

御田を囲み 四方山話

宮崎金次郎(西区草部)

※お寄せいただいた句を詠む時の情景や思いもお寄せください。
※俳句・短歌・川柳の次回締め切りは、2015年9月9日(水)です。
※特に、俳句・短歌のご応募お待ちしております。

会員さん紹介 ⑤

鳳支部 あさい 千代子さん



浅井さんは、昭和6年長野県諏訪市で生まれ、その後すぐに大阪に移り結婚を機に鳳で暮らすことになったそうです。友の会との出会いは、浅井さんのお子さんが耳原でお世話になったことがきっかけだそうです。浅井さんも耳原にいられており、「耳原の先生は色々な活動をされていて、自分のことよりも、平和活動をしていたい」と今でも当時のことを覚えているそうです。

浅井さん手作りの9条ブローチと9条ネクタイ



書館が建設されたのをきっかけに人形劇グループ「シヤボン玉」を結成し、ご自身が脚本も手がけ、堺市内はもとより、和歌山や奈良など多くの地域に公演をしいかれたそうです。また読書会も同じ頃に作り、何人かで同じ本を読み、その本について感想交流を行っていたそうです。

現在は毎月1回、憲法9条を守る取り組みとして、近くのスーパー前でピラ配りをされています。また平和や戦争反対に関する詩も多く作られ、3カ月に1回詩集も出されています。現在の日本の状況を聞くと「戦争前夜だと思つ、死ぬまで戦争をする国作りには反対していく」と最後に力強く語られました。(文・写真 事務局)

編集後記

安民法案(戦争法案)が多くの国民が反対する中、衆議院を通過しました。安倍首相も「国民の理解が進んでいない」といいながら強行採決です。

日本各地で戦争法案反対の集会やデモが行われています。若者が主催するデモ

(上村)